

News Release

2023年2月2日



令和5(2023)年度中野区 当初予算案区長記者会見



中野区企画部 広聴・広報課 03-3228-8803



中野大好き
ナカノさん

未来の中野の礎を築く予算

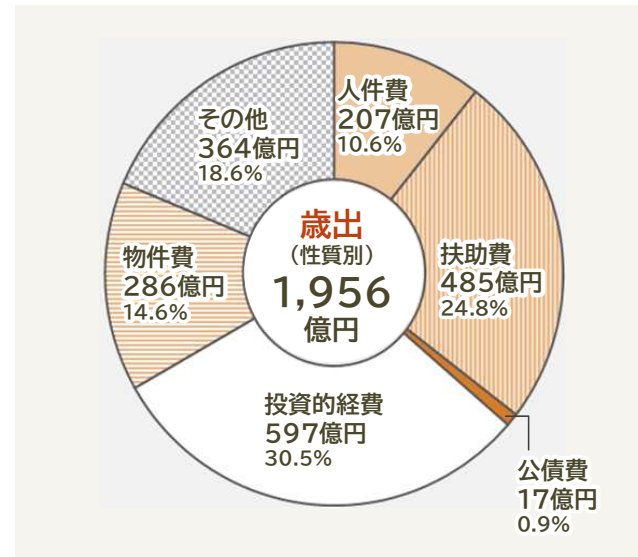
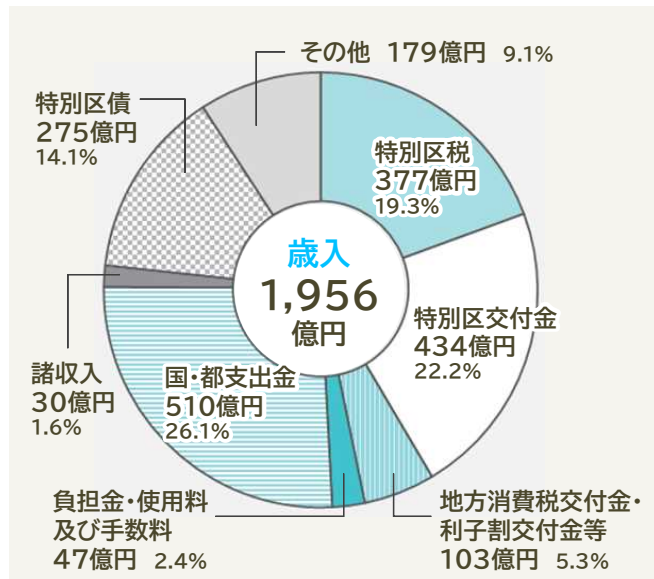
令和5(2023)年度 中野区当初予算案の概要

令和5(2023)年度中野区当初予算は、新庁舎移転を見据えて区民サービスと業務の改善を進め、未来の中野の礎を築くため、①基本計画で掲げる重点プロジェクト、②区有施設整備計画に基づく施設整備、③構造改革実行プログラムに基づく取組、④新型コロナウイルス感染症対策と様々な活動の活性化策、⑤新庁舎移転を見据えた業務改善等を重点事項としています。

一般会計予算は、**1,956億3,000万円**（前年度比**23.9%**増）で**過去最大**。4つの特別会計を含めた5会計の合計は、**2,728億3,200万円**（前年度比**22.7%**増）となりました。

		2023年度	2022年度	差し引き	前年比
一般会計		1,956億3,000万円	1,579億3,500万円	376億9,500万円	23.9%
特別会計	用地特別会計	87億7,900万円	3億400万円	84億7,500万円	2787.8%
	国民健康保険事業特別会計	360億4,400万円	325億5,300万円	34億9,100万円	10.7%
	後期高齢者医療特別会計	79億2,100万円	75億8,500万円	3億3,600万円	4.4%
	介護保険特別会計	244億5,800万円	240億3,400万円	4億2,400万円	1.8%
合計		2,728億3,200万円	2,224億1,100万円	504億2,100万円	22.7%

令和5(2023)年度予算案 一般会計の内訳



歳入は、納税義務者数や所得の増加による特別区税の増や、特別区交付金や地方消費税交付金の増加を見込んだほか、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施等により、国庫支出金が増となりました。

また、区役所新庁舎整備、囲町東地区市街地再開発事業、学校施設整備や平和の森小学校等の用地を購入すること等から、投資的事業の財源である、基金繰入金や特別区債が増加しました。

歳出は、中野二丁目地区市街地再開発事業関連経費、中野三丁目地区土地区画整理事業関連経費や学校体育館の冷暖房化経費等の投資的経費が減となったほか、児童手当、住居確保給付金、退職手当や基金への積立金等が減となりました。

一方で、区役所新庁舎整備費、平和の森小学校等の用地購入費、囲町東地区市街地再開発事業関連経費や学校施設整備費等の投資的経費が増となったほか、新型コロナウイルス感染症対策経費、教育・保育施設給付費、区有施設の光熱水費、新庁舎移転に向けた経費等が増となり、前年度を上回る予算となりました。

令和5(2023)年度予算案の主な項目

令和5(2023)年度予算の主な項目について、中野区基本構想で掲げる4つのまちの姿と区政運営等に関する取り組みの経費に分けてお示しします。

▼基本構想で掲げる4つのまちの姿と区政運営等に関する取り組み

1. 人と人がつながり、
新たな活力が生み出されるまちへの取り組み 5~12
2. 未来ある子どもの育ちを
地域全体で支えるまちへの取り組み 13~20
3. 誰もが生涯を通じて安心して
自分らしく生きられるまちへの取り組み 21~28
4. 安全・安心で住み続けたいくなる
持続可能なまちへの取り組み 29~33
5. 区政運営等に関する取り組み 34

中野サンプラザ閉館を契機としたシティプロモーション **(新規)**

6,667万5千円 **【P37】**

中野サンプラザの閉館（2023年7月2日）を契機としたシティプロモーションとして、以下の取り組みを実施します。

①中野サンプラザの外壁を利用したプロジェクションマッピング

▼内容

中野サンプラザ外壁（縦92メートル×横49メートル）に、中野のまちの移り変わりを象徴した映像を、音楽とともに映し出します。イベント時は中野サンプラザ前の道路を封鎖し、道路対岸から映像を投影します。

▼時期

2024年3月頃 3日間実施（予定）



中野サンプラザ閉館を契機としたシティプロモーション **(新規)**

②中野サンプラザの3Dマッピング

▼内容

中野サンプラザの外観及び建物内部を3Dデータ化し、文化財としてアーカイブします。オープンデータとして広く民間事業者等に提供することで、メタバースの活用など、デジタルによる中野のまちづくりを促進します。

▼手法

外観は点群データ測定、内観はMatterPort測定を想定

※①②は、ふるさと納税制度を利用したガバメントクラウドファンディングを実施します。

文化・芸術の充実（ソフト）

①文化、芸術体験の充実（新規）

1,800万円【P46】

子どもたちが文化・芸術に触れる機会を設けるため、区立小・中学校において文化・芸術団体による体験教室や鑑賞会等を実施します。

▼経費

区立小・中学校1校あたり600,000円



②文化・芸術に親しみ、つながりが生まれる機会の創出（新規）

987万2千円【P37】

なかのZERO本館の旧レストランスペースを活用し、区民や区内文化芸術団体の作品展示や、区民が実際に絵画や造形などを体験できるワークショップを実施します。

文化・芸術の充実（ハード）

③旧中野刑務所正門の修復・移築（推進）

2,250万円【P38】

中野区指定有形文化財である旧中野刑務所正門の修復・移築について、基本計画・保存活用計画に基づき、基本設計・実施設計を行います。

▼公開開始時期

2027年度以降



④文化施設の改修（推進）

5億8,752万1千円【P38】

- ▶なかのZERO本館の発電設備改修に係る機器を発注します。
- ▶なかのZERO西館及び野方区民ホールのトイレや照明器具等の内装改修工事を実施します。

1. 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまちへの取り組み⑤

次世代向け平和事業（拡充）

255万2千円【P32】

戦争の実相を体験的に学ぶ機会とするため、被爆地への平和の旅を実施します。

▼対象 中学生8名程度

▼訪問先 広島市

多文化共生事業の推進（拡充）

4,945万8千円【P37】

中野区国際交流協会を通じて、外国の方などを対象とした出張日本語講座を実施します。また、外国の方と特に接点がある区内団体を対象としたやさしい日本語出前講座を実施します。

区民公益活動の充実に向けた基盤整備とネットワークづくり（拡充）

1,419万9千円【P49】

- ▶地域団体の活動情報を簡易に発信・取得できるWEBアプリを導入します。
- ▶WEBアプリ活用促進のための研修を行います。
- ▶WEBアプリを活用し、地域課題分析のための地域データの基盤整備を行います。

中野駅周辺のまちづくり（推進）

127億8,641万9千円【P63】

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備工事を進めるほか、中野二丁目、中野三丁目及び中野四丁目新北口駅前地区において実施する土地区画整理事業、中野二丁目及び囲町東地区において実施する市街地再開発事業に係る事業費の一部を補助します。また、中野駅新北口駅前広場の実施設計を進めます。



（中野駅西側南北通路：完成イメージ）



（中野四丁目新北口駅前地区：完成イメージ）

中野駅周辺のまちづくり（推進）

- ▶中野駅周辺まちづくりに関する検討
- ▶市街地再開発事業補助等（中野二丁目地区）
 - ・ 施行者（再開発組合）に対する事業費の一部補助
 - ・ 中野区土地開発公社保有地取得
- ▶都市再生土地区画整理事業補助（中野二丁目地区）
 - ・ 施行者（区画整理組合）に対する事業費の一部補助
- ▶電線共同溝引込管路整備（中野二丁目土地区画整理事業）
 - ・ 主要区画道路における街路灯への電力引込工事
- ▶都市再生土地区画整理事業補助（中野三丁目地区）
 - ・ 施行者（UR都市機構）に対する事業費の一部補助
- ▶市街地再開発事業補助等（囲町東地区）
 - ・ 施行者（再開発組合）に対する事業費の一部補助及び道路整備に係る費用の一部負担
 - ・ 中野区土地開発公社保有地取得
- ▶都市再生土地区画整理事業補助等（中野四丁目新北口駅前地区）
 - ・ 施行者（UR都市機構）に対する事業費の一部補助及び道路整備に係る費用の一部負担
- ▶中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備
 - ・ 建物本体工事、中野駅西口広場・デッキ整備（西側南北通路部分）
- ▶中野駅新北口駅前広場整備事業
 - ・ 駅前広場実施設計
 - ・ 囲町方面デッキ実施設計
 - ・ 仮設駐輪場移設等工事

1. 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み⑧

【その他 新規・拡充事業】

データ活用による商業振興等の推進 (新規) **744万円 【P37】**

商業振興施策の立案、まちづくりによる影響を評価する上においてのエビデンスとなるデータを取得します。

商店街キャッシュレス普及キャンペーン事業 (拡充) **873万6千円 【P37】**

希望する商店街に対し「店舗向けキャッシュレス相談(勉強)会」、「消費者向けキャッシュレス推進イベント」、「キャッシュレス決済機器導入支援」をパッケージ化して、キャッシュレス普及キャンペーン事業を実施します。

個店・スタートアップ支援 (拡充) **300万円 【P37】**

中野区商店街連合会が新たに実施する個店の経営力強化や新規出店者に対する伴走型支援事業を補助対象とし、中野区商店街連合会事業補助金を増額します。

区民活動センターICT環境の向上 (新規) **122万2千円 【P48】**

区民生活へのICTの浸透を図るため、各区民活動センターにタブレット端末を配置し、利用の促進と団体活動の活性化を図ります。

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み①

ひとり親家庭支援（新規）

1,336万円【P42】

ひとり親家庭に対し、くらしや仕事、子育てなどの総合的・包括的な支援を行います。

①ひとり親家庭相談支援員の配置

▼内容：社会福祉士や精神保健福祉士などの有資格者や、福祉学等を修了し、相談業務の経験がある者などを配置。相談の質の向上を図るとともに、時間外や土曜日の相談受付も実施

②裁判外紛争解決手続き（ADR）利用支援

▼内容：養育費の取り決めに係る支援として、裁判外紛争解決手続き（ADR）の申込料・依頼料に相当する費用及び1回目の調定に要した費用を助成

③実質ひとり親家庭への支給【23区初】

▼内容：離婚調停中の実質ひとり親家庭に対して、児童扶養手当の申請ができない間、児童扶養手当相当額（児童1人あたり10万円）を支給。2023年6月から申請受付を開始

④ひとり親家庭への行政サービスを紹介するしおりの作成・配布

▼内容：ひとり親家庭を対象とする各種支援制度や相談先を掲載したしおりを作成。ひとり親家庭や離婚予定の家庭へ配布します。

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み②

子どもの貧困対策の推進（拡充）

1億55万円【P42】

子どもソーシャルワーカーを配置します。また、高校2年生年齢の子どもと子育て家庭の生活実態を把握するための詳細分析を実施します。

①子どもソーシャルワーカーの配置

▼内容：社会福祉士の資格を有する者を配置。地域で活動する団体等との連携体制を構築するとともに、研修会の実施や子ども食堂・学習支援事業などの運営を支援。子どもの貧困対策を地域全体で推進する体制を整えます。

②「東京都子どもの生活実態調査2022」の詳細分析

▼内容：学習・就業の状況、自己肯定感、健康、家庭状況、行政への支援ニーズ等、他自治体と比較した中野区の現状を分析

※東京都子どもの生活実態調査2022：

東京都立大学子ども・若者貧困研究センターが実施する、子どもの貧困の実態把握のための調査

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み③

教育相談体制の充実（拡充）

4,049万7千円【P45】

悩みを抱える子どもたちをサポートするスクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。また、学校現場への法的支援を行うスクールロイヤーを配置します。

①スクールソーシャルワーカーの拡充

▼内容：スクールソーシャルワーカーを1名増員し、計10名とします。
また、10名の勤務日数を月16日に増加。子どもたちのサポートに加え、学校に対する支援体制を強化します。

②スクールロイヤーの配置

▼内容：スクールロイヤーを2名配置し、学校の諸課題に関する法律相談を各学校から弁護士に相談できる体制を整えます。また、保護者側の代理人として弁護士が就く場合等に面談に同席し、法的観点から助言を行います。

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み④

高校生等(18歳以下)医療費助成事業 (新規)

9,886万6千円 【P42】

現在、0歳から15歳までとしている医療費の助成対象を、18歳までに拡大し、医療保険の自己負担分(3割)の全額を助成します。中野区では、東京都補助に加え、独自に上乘せすることによって、所得制限を設けず、対象となる全世帯の医療費を無料化します。

▼対象 2005年4月2日から2008年4月1日までに生まれた方
(対象者数：約5,100人)

▼助成開始 2023年4月

リトルベビーハンドブックの作成 (新規)

90万2千円 【P48】

2,500グラム以下の低出生体重児などのお子さんを育てる家庭への育児支援として、リトルベビーハンドブックを作成・配付します。【23区初】

▼部数 1,000部

▼配付場所 家庭訪問や乳幼児健診等にて配付

※中野区における年間出生数：約2,400人(うち低出生体重児は1割程度)

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み⑤

障害児の受け入れに対する加算（新規）

4,922万円【P44】

認可保育施設（保育所、認定こども園）のうち、保育時間を11時間に延長して障害児を受け入れた私立園に対して運営費（扶助費）を加算します。

▼内容

子どもの障害に応じて、1人あたり月2万円もしくは4万円を私立園運営費に加算

保育所等の空き定員を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業（新規）

914万7千円【P43】

定員に空きのある保育所等において、保育所や幼稚園に通っていない未就園児を週1～2日程度、定期的に保育します。

▼内容

モデル施設として4施設（定員計8名）で実施予定
実施施設に対しては、利用者数に応じた補助額を助成します。

▼事業開始

2023年7月

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み⑥

小規模保育施設等における防災対策の推進（新規）

196万円【P44】

認可保育施設（保育所、認定こども園、小規模保育施設）のうち、職員への防災教育や避難器具の整備など、総合的な防災対策の取組を行う施設に対して区独自に助成を行います。

▼対象施設

公定価格による施設機能強化推進費加算の要件を満たさない認可保育施設

▼給付単価

施設の定員数に応じた単価を上限に助成

ひがしなかの幼稚園の第2園庭の整備（新規）

703万4千円【P45】

中野東中学校跡地の一部（約1,700平方メートル）に区立ひがしなかの幼稚園の第2園庭を整備します。

▼スケジュール

～2023年度 旧中野東中学校解体工事

2023～2024年度 第2園庭の設計、整備工事

2024年度～ 第2園庭として暫定活用

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み⑦

中学校部活動の地域移行（新規）

22万4千円【P46】

休日部活動の運営主体の地域への移行に向けて、検討委員会を立ち上げ、中野区に合った部活動のあり方を検討します。

▼委員 学識経験者2名、中学校教員、区職員

▼検討課題 地域人材・資源の活用、スポーツクラブとの連携、
教職員の兼職兼業の実現、合同部活動の実施

▼スケジュール 2023年度 部活動のあり方検討
2024年度 モデル校にて実施予定

小学校選択制移動教室業務委託（新規）

4,173万6千円【P46】

貸切バスや宿泊施設の手配、現地踏査及び当日の添乗・行程調整等、移動教室の準備作業及び実施時の諸業務を委託し、小学校における選択制移動教室の円滑かつ安定的な実施を図ります。

2. 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み⑧

区立小中学校の指導体制・組織体制の充実（拡充） 3億360万9千円【P46】

任期付短時間勤務教員や、担任の業務を補佐するエデュケーション・アシスタントを配置し、授業の質の向上や教員の負担を軽減します。

①任期付短時間勤務教員の拡充：

各小・中学校に1名配置。20学級以上の小学校5校には追加で1名配置
少人数指導やチーム・ティーチング、放課後学習指導等を行います。

②エデュケーション・アシスタントの配置：

小学校の第1～3学年の各学年に1名配置し、子どもからの相談対応や学習・生活指導の補助を行います。

学校運営協議会・地域学校協働本部の設置（拡充） 1,446万4千円【P45】

学校運営協議会・地域学校協働本部を一体的に推進するコミュニティ・スクールを新たに1～2中学校区で実施し、全校導入に向けた課題の検証等を行います。

▼スケジュール 2023年度 小学校9校、中学校3校で実施

2024～25年度 全校で実施

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み①

ヤングケアラー支援 **(新規)**

1,587万5千円【P48】

ヤングケアラーの支援体制を強化するため、実態調査やオンラインサロンの設置などの取り組みを行います。

①実態調査（Webアンケート調査）

▼対象

区内小学4年生～中学3年生、16歳～18歳の児童・生徒等

②ヤングケアラーコーディネーターの配置

▼内容：行政と民間支援団体等とのパイプ役となるコーディネーターを配置

③オンラインサロンの運営・支援

▼内容：孤立しがちなヤングケアラー同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンを設置

④支援関係者への研修

▼内容：区職員、地域の子育て支援団体、社会福祉協議会、民生児童委員等を対象に、ヤングケアラーの発見や支援策に係る研修等を実施

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み②

介護職員宿舎借上げ支援事業 **(新規)**

947万1千円【P49】

介護保険サービスを提供する事業所の職員に対する宿舎の借上げを支援。住宅費負担を軽減し、職員の働きやすい職場環境を実現することで、介護人材の確保・定着を図ります。

▼対象

地域密着型サービス事業施設（東京都の補助対象外施設）

▼補助額

1戸あたり月額71,750円（上限）

困難な問題を抱える女性への支援（拡充）

968万8千円【P53】

婦人保護事業の担い手となる婦人相談員への処遇を改善し、必要な人材を確保するとともに、同行支援などの体制を強化します。

▼背景：「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（令和6年4月1日施行の新法）

※「困難な問題を抱える女性」とは、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む）

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み③

重度訪問介護利用者の大学等修学支援事業 **(新規)** 474万6千円 【P52】

重度障害者が修学するために必要な支援体制を大学等が構築できるまでの間、重度障害者に対して修学に必要な身体介護等を提供します。

▼内容

通学中及び大学等の敷地内での身体介護（食事介助、排泄介助、通学介助等）

重度障害者等就労支援特別事業 **(新規)** 1,270万9千円 【P52】

重度障害者等が就労する場合に、職場等における身体介護や通勤介助等を行うことで、重度障害者等の就労機会の拡大を図ります。

▼内容

身体介護：喀痰吸引、姿勢調整、安全確保の見守り、飲食や排泄の介助等

業務支援：文書の朗読・作成、機器操作、入力作業のサポート等

通勤等の付き添い：通勤、業務上の外出における移動や公共交通機関乗降の補助等

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み④

失語症者向け意思疎通支援者派遣事業 **(新規)** 260万7千円【P52】

失語症者の自立及び社会参加を促進するため、会話を支援する取り組みを行います。

- ①団体派遣：失語症者の参加する団体に、意思疎通支援者を派遣
- ②サロン開催：交流やマッチングを目的とした失語症者と意思疎通支援者が集うサロンを開催

医療的ケア児等支援の連携体制の拡充 **(新規)** 29万9千円【P52】

重症心身障害児や医療的ケア児への支援として、以下の取り組みを実施します。

- ①協議の場の設置：地域において必要な支援を円滑に受けられることができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関による協議会を設置
- ②連携の場の設置：医療的ケア児への支援に関する社会的資源や相談援助に係る技術など、医療的ケア児コーディネーターを中心とした情報共有の場を設置

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み⑤

食育の推進 (新規)

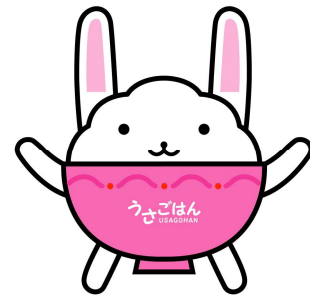
157万8千円【P53】

子どもから高齢者までライフステージに合わせた食育を支援するため、健康的な食習慣等についての意識啓発を充実します。

① ライフステージ別の食育リーフレット

▼ 内容

年代別の6種のリーフレットを、大学等との連携により作成・配布
(ライフステージ：妊婦・授乳期、乳幼児期、学童・思春期、成人期Ⅰ
(18～39歳)、成人期Ⅱ(40～64歳)、高齢期)

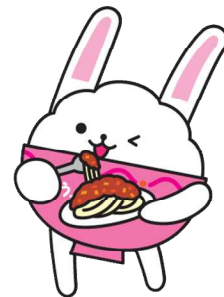


(食育マスコットキャラクター「うさごはん」)

② 食育講座の実施

▼ 内容

リーフレットを活用し、大学等との連携事業として食育講座を実施



3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み⑥

第二中学校温水プールを活用した水泳事業 **(新規)** 113万9千円【P52】

区民の水泳ニーズに応え、第二中学校温水プール利用を促進するための水泳事業を実施します。

▼内容

- ①障害児者向けの水泳教室（通年）
- ②子ども向け水泳体験会
- ③高齢者向け水中運動体験会

中野ランニングフェスタ支援事業 **(新規)** 200万円【P52】

中野ランニングフェスタ事業（ランニングイベント等）を主催する実行委員会に対して、大会運営に係る経費を一部補助します。 2023年開催：3月12日（日）※4年ぶりの開催

- ▼開催日 2024年3月上旬(予定)
- ▼場所 中野四季の森公園及びその周辺道路



(2018年開催の様子)

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み⑦

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施 **(新規)** 8万4千円【P48】

国保データベースシステムから抽出した検診データ等を分析し、健康課題や支援対象者を特定。高齢者に対する個別アプローチ（ハイリスクアプローチ）と通いの場等への積極的関与等（ポピュレーションアプローチ）を行います。

区民向け口腔がん啓発支援事業 **(新規)** 20万円【P53】

口腔がんに関する啓発のため、中野区歯科医師会が行う口腔がん啓発に係る経費を一部補助します。

中央図書館児童コーナー等環境改善事業 **(新規)** 1,595万円【P46】

子どもの読書活動を推進するため、子どもたちが来館したくなるような魅力ある児童コーナー等を整備します。

▼整備箇所：中央図書館（中野2-9-7 なかのZERO内）

「成長する森」をコンセプトに国産木材を活用した児童コーナーを整備

3. 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み⑧

【その他 新規事業】

地域包括ケア体制の充実に向けた産官学のコンソーシアム（共同基盤）の整備 **（新規）**
6万6千円 【P48】

行政だけでは解決困難な複雑化・複合化した地域課題の解決に向け、孤独対策やフレイル予防など、教育機関（大学等）、企業等団体の持つ知見・ノウハウを活用するため、コンソーシアム（共同基盤）を整備します。

高齢者会館施設の環境改善 **（新規）** 3,656万1千円 【P48】

高齢者会館において、和室から洋室への改修工事（一部施設）や平日夜間・土日祝日の受付管理人の配置等を実施し、利便性の向上を図ります。

補聴器購入費用助成の検討 **（新規）** 18万円 【P48】

高齢者の補聴器購入費用助成に係る検討会を設置します。

障害者職場実習受入奨励金 **（新規）** 48万円 【P52】

障害者職場体験の実習生を受け入れた企業に対し、「障害者職場実習受入奨励金」を支給することで、実習の場の拡大を図り、障害者の就労への移行や就職後の定着を促進します。

4. 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み①

男子HPVワクチン任意予防接種費用助成 **(新規)** 1,594万1千円【P53】

HPVに感染した男性を経由した女性の感染及び子宮頸がんの発症を予防し、男性の性感染症等を防止するため、男子へのHPVワクチン任意予防接種費用を全額助成します。 **【都内自治体・23区初】**

▼対象

区内在住の小学6年生から高校1年生までの男子

▼助成額・回数

接種費用全額（1回約17,000円）・3回

▼使用するワクチン

4価HPVワクチン

▼助成開始

2023年8月1日

4. 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み②

太陽光発電システム補助の創設（新規）

525万円【P57】

これまで実施してきた蓄電システム及び高断熱窓・ドア設置助成に加え、新たに太陽光発電システムの設置に対する補助制度を創設します。

▼補助額 15万円（上限）

▼申請受付時期 2023年7月～

▼対象

区民、管理組合、地域団体及び区内事業者（中小企業、個人事業主等）

防災対策の推進（拡充）

2,594万9千円【P35】

①移動系防災行政無線設備の更新

新庁舎移転を見据え、区役所と区内関係機関約90か所の防災行政無線設備を更新

②災害対策用被服の変更

夏場の着用にも適した材質に見直すとともに、一目で区職員と認識できる被服に変更

③中野区一斉情報配信システムの機能追加

多言語機能を追加するとともに、他システムとの連携機能を強化

4. 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み③

防災まちづくり（推進）

6億6,635万6千円【P61】

地震時における地域危険度が高い地域や木造住宅密集地域等において、地域の市街地状況に即した防災まちづくりを推進します。

▶防災まちづくり計画

- ・新たな防火規制による不燃化促進
- ・若宮地区防災まちづくり

▶木造住宅密集地域整備

- ・南台地区・平和の森公園周辺地区
 - ・不燃化促進助成
- 東京大学附属中等教育学校周辺地区
大和町中央通り地区
区画街路第4号線地区

▶弥生町防災まちづくりの推進

- ・避難道路の整備
- ・新たな地区計画に基づく建物の不燃化促進
- ・防災街区整備事業の推進

▶大和町まちづくり

- ・優先整備路線の拡幅整備
- ・不燃化特区制度を活用した建物の不燃化促進

4. 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み④

新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり（推進）

21億6,192万4千円【P62】

交通環境の改善、にぎわいと魅力あふれるまちづくりや防災性の向上に向けた取り組みを進めます。

- ▶補助第220号線（I期）、区画街路第3号線、区画街路第4号線
整備に向けた用地取得、沿道地区のにぎわい創出検討
- ▶新井薬師前・沼袋駅前拠点整備の推進
- ▶上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの推進

野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺のまちづくり（推進）

8,054万3千円【P62】

西武新宿線の連続立体交差事業の早期実現を目指した野方駅、都立家政駅、鷺ノ宮駅の各駅周辺のまちづくりと、駅前の拠点づくり及び基盤計画の検討を行います。

4. 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み⑤

【その他 新規事業】

中野区における脱炭素社会の実現に向けた分析調査 **(新規)** 1,432万1千円 【P57】

令和6年度に予定している脱炭素ロードマップの作成に向け、具体的な取組等を検討するため、地域特性を踏まえた二酸化炭素排出量の削減ポテンシャル等の分析調査を実施します。

中野二丁目の自転車駐車場の移転・開設 **(新規)** 321万9千円 【P59】

中野二丁目のまちづくりに伴い、仮設で運営していた自転車駐車場について、再開発ビルの開業に合わせ建物内に移転・開設します。

5. 区政運営等に関する取り組み

SDGsの推進（新規）

56万8千円【P32】

SDGsを推進するため、区民や事業者等へのセミナー等の普及啓発事業を実施します。

LINE運用支援ツールの導入（新規）

347万1千円【P32】

中野区公式LINEアカウントに運用支援ツールを導入。行政手続きのオンライン化を進めるとともに、区政情報を効果的に発信し、区民の利便性を向上します。

統合型GISの構築等（推進）

2億6,236万6千円【P35, 59】

市内の地図情報を職員が一元管理する市内型GISと区民等に地図情報を公開する公開型GISを一体的に構築します。地図情報を充実させるとともに、オープンデータとして公開するための電子化を進めます。

収納率向上への対策（拡充）

5,907万9千円【P39】

国民健康保険料のインターネットによるクレジットカード払いを導入するとともに、預貯金調査業務の電子化等により収納業務及び滞納整理業務を強化。収納率の向上を図ります。